保証書（持込修理）

本書は、本書記載内容（下記規定）で、無料修理を行うことを、お約束するものです。
保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

無効

品番	EG-C452	
S/N		
買い上げ年月日	年 月 日	保証期間 対象部分 機器本体（消耗部品は除く） お買い上げの日から 1年
お客様	お名前	様
	ご住所	〒 TEL.（ ）
販売店	店名・住所	上欄に記入または捺印の無い場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

＜無料修理規定＞

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   (イ)使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
   (ロ)お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
   (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源（電圧、周波数）や異常電圧による故障及び損傷
   (ニ)特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
   (ホ)故障の原因が本製品以外にある場合
   (ヘ)本書のご提示がない場合
   (ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   (チ)付属品や消耗品等の消耗による交換
   (リ)お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

故障内容記入欄

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

ご愛用者アンケートにご協力ください

携帯(iモード/Vodafone live!/EZweb対応)またはパソコンから、お答えください。

① 「メール会員登録」をしてください。(登録無料)
② 宛先に『yupiteru@mo-on.com』、件名または本文に『会員』と入力し、メールを送信してください。
③ しばらくすると、確認のメールが返信されますので、登録画面にしたがって、必要事項を入力してください。

※迷惑メール対策で、ドメイン指定受信を設定されている方は、弊社からの確認メールのために、「@mo-on.com」からのメールを受信できるように設定してから、メールしてください。

宛先 yupiteru@mo-on.com
件名 会員
本文 会員

ユピテル工業株式会社
〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

R100 PRINTED WITH SOY INK ※この印刷物は、環境にやさしい古紙100%の再生紙と大豆油インキを使用しています。

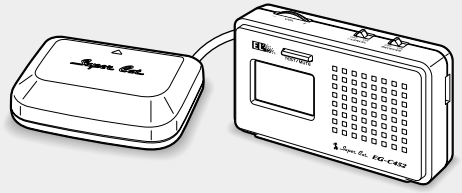
6SS1036

Super Cat 安全運転を支えるテクノロジー

車内セパレートタイプGPS&レーダー探知機

EG-C452

取扱説明書



12V車専用

このたびは、スーパーキャットのレーダー探知機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機は、スピード取締り機の存在を前もってお知らせする受信機です。

EL 液晶より見やすいEL表示

8 GPS8識別警報

誤警報低減機能
ホンモノの警報だけ、的確にお知らせする「インテリジェント・キャンセル」等、快適なドライビングをサポートします。

5 5バンド受信機能
GPS、X・Kツインバンドの他に、無線2バンド受信をプラス。

無線2バンド受信
カーロケ圏外通知

GPS測位機能

EXTRA/エクストラ感度☆☆☆☆

iDSP
統合的デジタル信号処理技術（ｉデジタル）により、超高精度識別を実現。

レーダーアラーム機能

自動制御機能

ity. MAP 地図閲覧サービス
約150,000件のMAPPLEデータから、ケータイに周辺の地図を表示！

ity. intelligent telematics by yupiteru

ｉｔｙ.（アイティ）…それはカーライフに快適でインテリジェント(intelligent)な情報を提供するテレマティクス(telematics)という新しい技術 ――― ユピテルから

*テレマティクス/telematics＝telecommunication＋informatics

⚠注意
この説明書をよくお読みのうえ、安全運転のよきパートナーとして正しくお使いください。なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

目次

はじめに
安全上のご注意 2
各部の名称と働き 4
主なEL表示について 6
表示部付き本体の取り付けと接続 8
アンテナ部の取り付けと接続 9
電源について 10

使いかた
レーダー編
音量や受信感度の設定について 12
便利な機能について 14
レーダーアラーム機能について 14
iDSPについて 15
インテリジェント・キャンセルの使いかた ... 16
GPS編
GPS測位機能について 17
GPS8識別警報について 18
ity.MAP 地図閲覧サービスについて 21
無線編
無線受信バンドについて 22

その他
取締りのミニ知識 24
取締りレーダー波を受信しにくい場合 25
仕様 25
故障かな？と思ったら 26
アフターサービスについて 27
保証書 ..... 裏表紙

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ **警告**：この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠ **注意**：この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示について

⚠ この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

🚫 この記号は、してはいけない「禁止」内容です。

❗ この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

水をつけたり、水をかけない。また、ぬれた手で操作しない…火災や感電、故障の原因となります。

穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない…感電や故障の原因となります。

機器本体および付属品を改造しない…火災や感電、故障の原因となります。

運転中は絶対に操作しない…わき見運転は重大事故の原因となります。また、設定は停車中に、パーキングブレーキを確実にかけた状態で行ってください。

取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付ける…誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

シガーライターソケットやシガープラグの汚れはよくふく…接触不良を起こして火災の原因となります。

シガーライターソケットは単独で使う…タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。

万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

警報したときに慌ててブレーキをかけたりしない…走行中に急ブレーキをかけたりすると大変危険です。

バッテリーに直接接続しない…火災や感電、故障の原因となります。

サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

医用電気機器の近くでは使用しない…植込み型心臓ペースメーカや、その他の医用電気機器に電波による影響を与える恐れがあります。

シガープラグは確実に差し込む…接触不良を起こして火災の原因となります。

ぬれた手でシガープラグの抜き差しをしない…火災や感電、故障の原因となります。

⚠警告

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しない。また、電源コードが傷んだら使用しない…感電やショートによる発火の原因となります。

表示された電源電圧車以外では使用しない…火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

煙が出ている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐにシガープラグを抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

助手席エアバックの近くに取り付けたり、配線をしない…万一のとき動作したエアバックで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、シガープラグ使用時に配線が妨げとなり、エアバックが正常に動作しないことがあります。

⚠注意

本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。

取り付けは確実に行う…落ちたりして、ケガの原因となります。

車から離れるときや、使用しないときは電源を切ってください。また、シガープラグコードを接続している場合は、エンジンを止めても、シガーライターソケットに、常時電源が供給される車種がありますので、ご使用にならないときはシガープラグを抜いてください。

シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らない…コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずシガープラグを持って抜いてください。

お手入れの際は、シガープラグを抜く…感電の原因となります。

ご使用にあたって

■周辺の環境によっては、GPSの測位に誤差が生じることがあります。

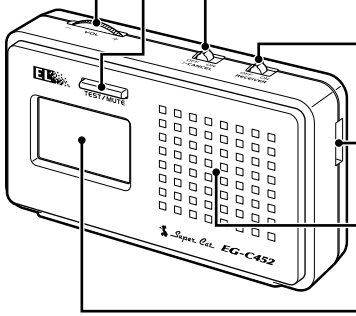
■走行環境や測定条件などにより、取締りレーダー波の探知距離が変わることがあります。

■一部の車種に採用されている金属コーティングの断熱ガラスのなかには、電波の透過率が低いため衛星からの電波を受信しにくく、GPS測位ができない場合や、取締りレーダー波の探知距離が短くなることがあります。

本機を使用中のスピード違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。

各部の名称と働き

表示部付き本体



音量ツマミ [− VOL ＋]
音量を調節するときに使います。（12ページ）

テスト&ミュートボタン [TEST/MUTE]
警報音の確認やミュート機能、位置表示機能を使うときに押します。（12,14ページ）

インテリジェント・キャンセルスイッチ [I-CANCEL]
ONにするとAAC/ASS機能やインテリジェント・キャンセル機能が働きます。（13,16ページ）

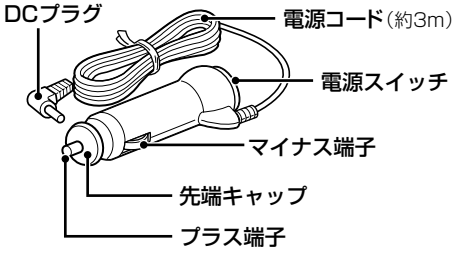
レシーバースイッチ [RECEIVER]
2バンド受信機能の設定/解除を選べます。（22ページ）

接続ジャック（8ページ）

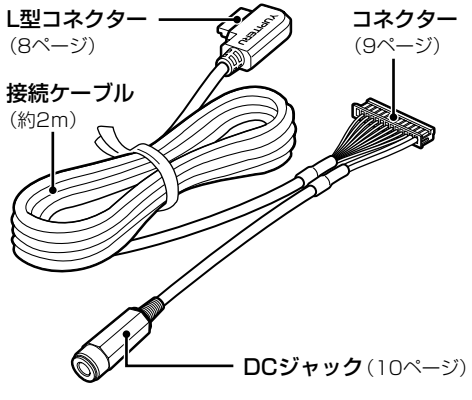
スピーカー

EL 表示部
文字表示やアイコンで、各種警報や状態表示をします。

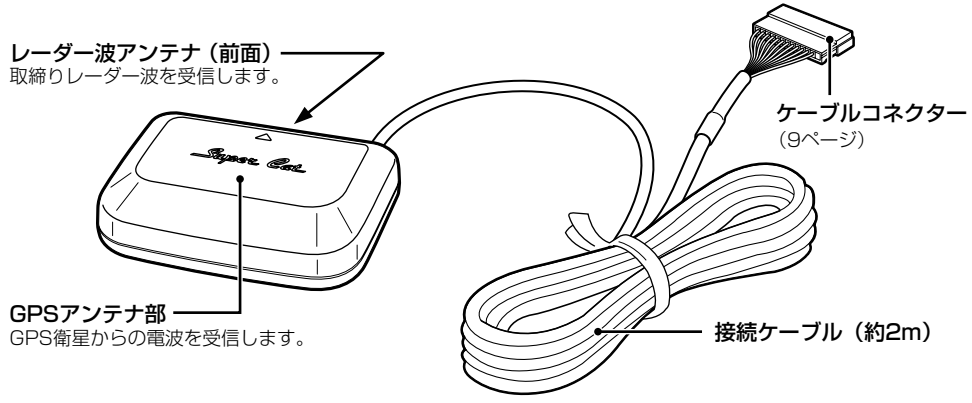
電源スイッチ付シガープラグコード



接続ケーブル



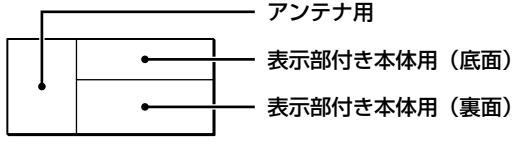
アンテナ



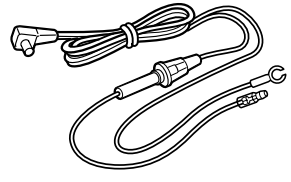
付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

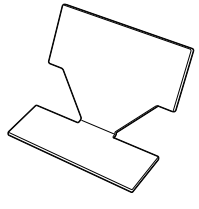
●両面テープ（1）



●電源直結コード（約3m）



●表示部付き本体用ブラケット（1）



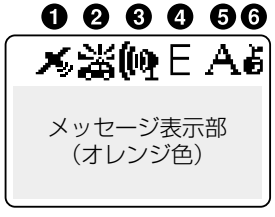
● 取扱説明書（保証書）（1）
● ity.MAPクラブ説明書・申込書（1）

主なEL表示について

※アイコン表示は、GPS測位状況や各種設定状況等により異なります。

青／オレンジの2色有機LEDドットマトリックス表示により、文字やアイコンで警報や状態表示などをします。

アイコン表示について



●フレックスディマーについて

GPSの時刻情報により、それぞれの地域および季節に応じて、夜間のEL表示やパイロットランプの明るさを抑え、眩しさを防ぎます。

	表示名		アイコン	表示色	表示の意味
❶	GPS	測位表示		青色	測位中に点灯します。
		警報表示			GPS8識別警報時に点滅します。
❷	無線警報表示				各種無線警報時に点滅します。
❸	レーダー警報表示				レーダー波を受信時に点滅します。
❹	レーダー受信感度表示		E C S E		レーダー受信感度などを表示します。☛ 13ページ
❺	Iキャンセル、AAC/ASS表示		A		インテリジェント・キャンセルおよびAAC/ASS機能動作時に表示します。
❻	itv. MAPマーク				itv. MAP 地図閲覧サービスの利用時に、緯度・経度を表示させているときに表示します。☛ 21ページ

● EL表示の内容は、実際と異なったり、変更になる場合がございます。

GPSも、無線も、レーダーも、「液晶」より見やすいEL表示と『ボイス』のダブルで警報します。

- GPS 8識別警報
- 無線 3識別警報
- レーダー波 2識別警報

→ **ターゲット13識別警報**

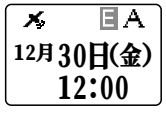
主な表示例は、次のとおりです。

メッセージ表示例

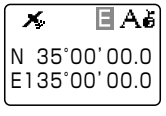
① オープニング表示

『ピロッピロッ
（ピピピピッ）…』

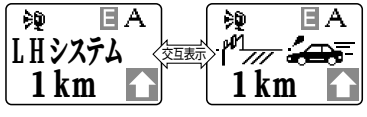
② 待受画面/月日時分表示



③ 緯度・経度表示

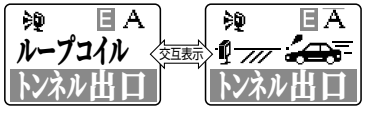


④ GPS/LHシステム警報



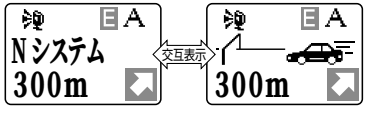
『ポーン　1km先 オービスです』

⑤ GPS/トンネル出口警報



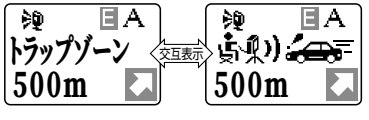
『ポーン　この先 オービスです』

⑥ GPS/Nシステム告知



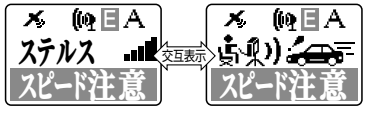
『ピロロロ～ン』

⑦ GPS/ゾーン警報



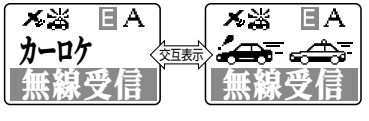
『ポーン　トラップゾーンです　トラップゾーンです』

⑧ レーダー/ステルス警報



『ピロッピロッ』

⑨ 無線/カーロケ警報



『ピッピピッ』

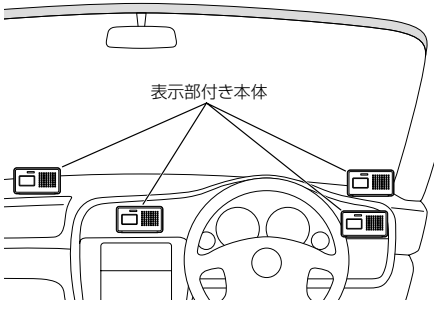
※③の「緯度・経度表示」は、テスト＆ミュートボタンを押したときのみとなります。
※日付および時刻は、GPSからの電波を受信して、自動的に設定されます。
※緯度・経度の値は、実際と大きく異なることがあります。目安程度にお考えください。

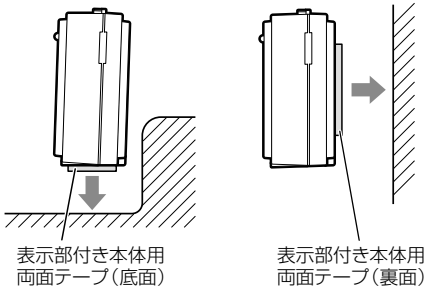
表示部付き本体の取り付けと接続

両面テープで取り付けるとき

1 付属の両面テープで、表示部付き本体を貼り付けます。

下記のイラストを参考に見やすい場所に貼り付けてください。

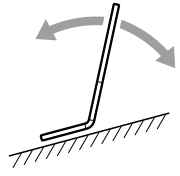




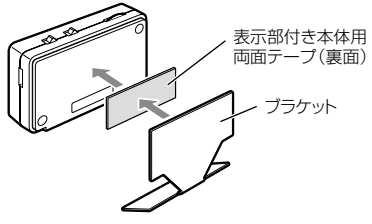
- あらかじめ、貼る場所のチリや汚れ、脂分をよく落としたあと、慎重に行なってください。貼り直しは、テープの接着力を弱めます。

ブラケットで取り付けるとき

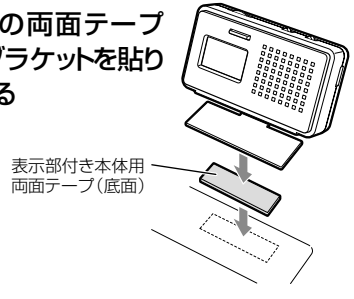
1 あらかじめ貼付場所を決めて、見やすい角度になるようにブラケットを折り曲げて、角度の調整をする



2 ブラケットを表示部付き本体裏面に両面テープで貼り付ける



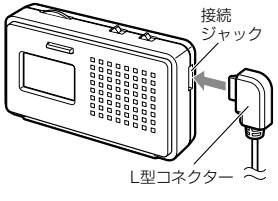
3 付属の両面テープで、ブラケットを貼り付ける



接続ケーブルの接続

1 表示部付き本体に接続ケーブルを接続する

接続ケーブルのL型コネクターを、表示部付き本体側面の接続ジャックへ差し込みます。

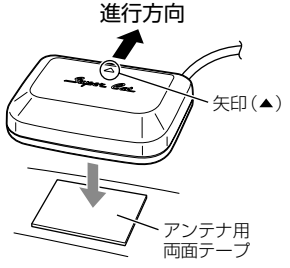


L型コネクターのケーブルが下側になる様に差し込みます。間違って接続しますと故障の原因になります。

アンテナ部の取り付けと接続

ダッシュボードに取り付ける

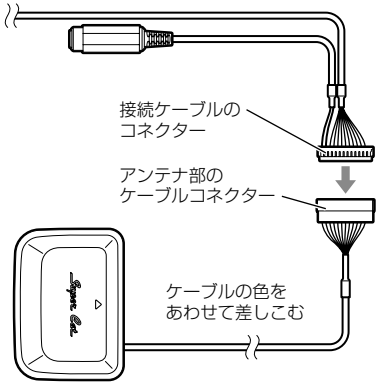
1 付属の両面テープで貼り付け、アンテナ部が道路に対して水平に、また矢印(▲)が進行方向(前方)を向くように、角度を調整する



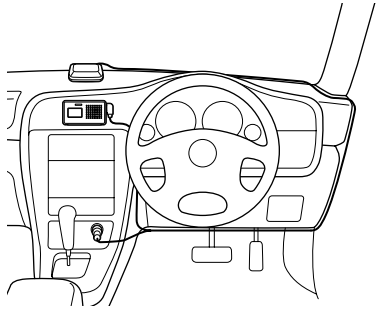
- GPSの電波を受信しやすい場所に取り付けてください。
- GPSアンテナ部の上やレーダー波アンテナの前に他の機器のアンテナや、金属などの障害物がこないような場所に取り付けてください。
- あらかじめ、貼る場所のチリや汚れ、脂分をよく落としたあと、慎重に行ってください。貼り直しは、テープの接着力を弱めます。

接続ケーブルの接続

1 アンテナ部のケーブルコネクターを、接続ケーブルのコネクターに差込みます。



2 ケーブルをきれいに配線する



取り付け時について

⚠警告

- エアバックの上に取り付けないでください。万一のとき動作したエアバックで飛ばされ、事故やケガの原因となります。

⚠注意

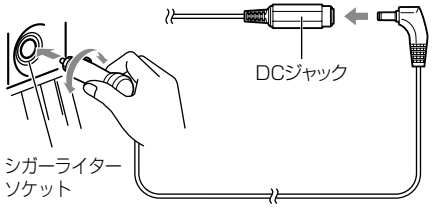
- 取り付けは確実に行ってください。落ちたりして、ケガの原因となります。
- 接続ケーブルの接続または取りはずしをする場合は、シガープラグコードを取りはずした状態で行ってください。

電源について

12V車専用

1 付属の電源スイッチ付シガープラグコードを、接続ケーブルのDCジャックと車のシガーライターソケットに差し込む

シガープラグは、2〜3回左右にひねりながら差し込みます。



必ず表示部付き本体とアンテナ部を接続ケーブルに接続した後で、シガープラグコードを接続してください。

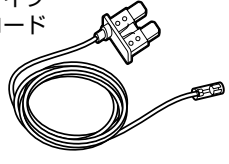
- シガープラグコードは、必ず付属のものをご使用ください。
- シガープラグ内部のヒューズが切れた場合は、同じ容量(1A)の新しいヒューズと交換してください。
- 一部の車種においては、シガープラグの形状が合わないことがあります。その場合は、付属の電源直結コードを使用してください。

電源直結コードの使いかた

シガーライターソケットを使わず、ヒューズボックスから電源をとることができます。
平型ヒューズタイプの電源取り出しコード(市販品)をお買い求めいただき、次のように接続してください。

※ 平型ヒューズにはノーマルサイズとミニサイズがあります。あらかじめ、ヒューズボックス内のヒューズのサイズと容量をご確認のうえ、お買い求めください。

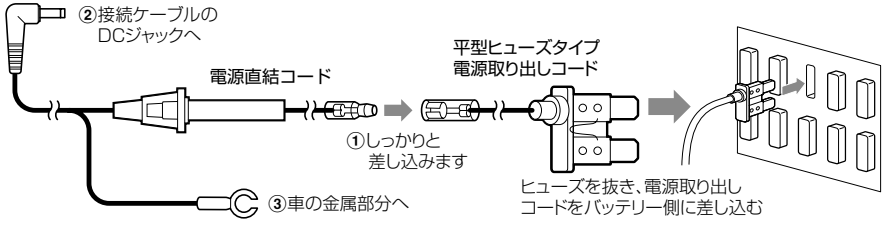
■平型ヒューズタイプ
電源取り出しコード
(市販品)



接続方法

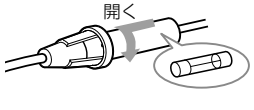
- 作業中のショート事故防止のため、接続前に必ず車のバッテリーのマイナス端子をはずしてください。
- 平型ヒューズ取り付け時には、付属の取扱説明書をよくお読みになり、接続手順や注意事項などを守ってください。

必ず、エンジンキーのACC ON/OFF操作と連動してON/OFFする回路(カーラジオなど)のヒューズと差し替えてください。



ヒューズの交換

- 接続状態でエンジンをかけても機器の電源が入らない場合は、接続コード類がはずれていないことと、ヒューズホルダー内のヒューズが切れていないことを確認してください。(合わせて、平型ヒューズのヒューズが切れていないか確認してください)
- 図のようにヒューズホルダーを押しながら左に回してはずし、元に戻すときは、押しつけながら右に回してください。



⚠警告

- ぬれた手でシガープラグを抜き差ししないでください。火災や感電、故障の原因となります。
- シガープラグコードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。また、傷んだシガープラグコードを使用しないでください。感電やショートによる発火の原因となります。
- シガーライターソケットやシガープラグの汚れはよくふいて確実に差し込んでください。ホコリが付いていたり、不完全な接続をすると、接触不良を起こして火災の原因となります。
- シガーライターソケットは単独で使用してください。タコ足や分岐して接続すると異常過熱や発火の原因となります。
- 表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。
- 運転や視界の妨げにならない場所、また自動車の機能(ブレーキ、ハンドルなど)の妨げにならない場所に取り付け・配線を行ってください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。
- 助手席エアバックの妨げとなる場所に配線しないでください。シガープラグコードが妨げとなり、エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバックで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。
- 万一キャビネットを破損した場合は、すぐにシガープラグを抜いてください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。

⚠注意

- シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷がついて感電やショートによる発火の原因となります。
- お手入れの際には、シガープラグを抜いてください。感電の原因となります。
- 取り付けは確実に行ってください。落ちたりして、ケガの原因となります

音量や受信感度の設定について

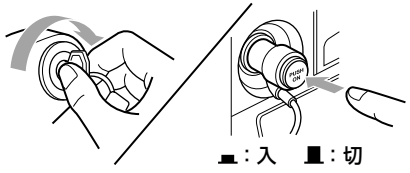
設定は、必ず停車中にパーキングブレーキを確実にかけて行ってください。

1 電源を入れる

車のエンジンを始動し、シガープラグの電源スイッチを押します。

ターン・オン・ビープ(🔊)ピロッピロッ…)が鳴り、EL がオープニング表示します。

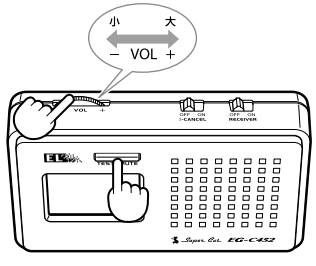
- レシーバースイッチを「ON」に設定しているときは、『ピロッピロッ』のあとに『ピピピピッ』と鳴ります。(☛ 22ページ)



[オープニング表示]

2 テスト&ミュートボタンを押しながら、音量ツマミを回す

テスト&ミュートボタンを押す前から警報機能が働く場合は、近くで発信されている取締りレーダー波と同じ電波を受信しているためです。この状態でボタンを押すと、ミュート機能が働き、警報音が止まります。(☛ 14ページ)



テスト&ミュートボタンを押している間はテストモードとなり、警報音(電子音またはボイス)を確認することができます。

一旦テスト&ミュートボタンを放し、1秒以内に再度押すと、次の手順で警報音やボイスの確認ができます。

また、テスト&ミュートボタンを1回押すと、押した地点の緯度・経度を1分間表示します。表示された緯度・経度は、itv. MAP 地図閲覧サービス利用の際に使用することができます。(☛ 21ページ)
さらにもう一度押すと、EL は待機画面になります。(☛ 7ページ)

警報音(電子音)
↓ 1秒以内にテスト&ミュートボタンを押す
『ポーン　この先オービスです』
『ポーン　1km先　オービスです』
『ポーン　500m先　オービスです』
『ポーン　1km先　トラップゾーンです』
『ポーン　1km先　チェックポイントゾーンです』
↓ 1秒以内にテスト&ミュートボタンを押す

3 AACシステム/ASS機能について

インテリジェント・キャンセルスイッチを「ON」にするとAAC/ASS機能およびインテリジェント・キャンセル機能(☛ 16ページ)が追加されます。

GPSの速度検出機能により、AAC/不要警報カットやASS/最適感度選択の機能が働きます。

AAC/不要警報カット

●走行速度が時速30km未満の場合は…

取締りレーダー波を受信しても、警報をカットしますので、停車中や低速走行中に、自動ドア等の電波を受信しても、誤警報することはありません。

- GPS測位されない状態では、AACシステムは働きません。

ASS/最適感度選択

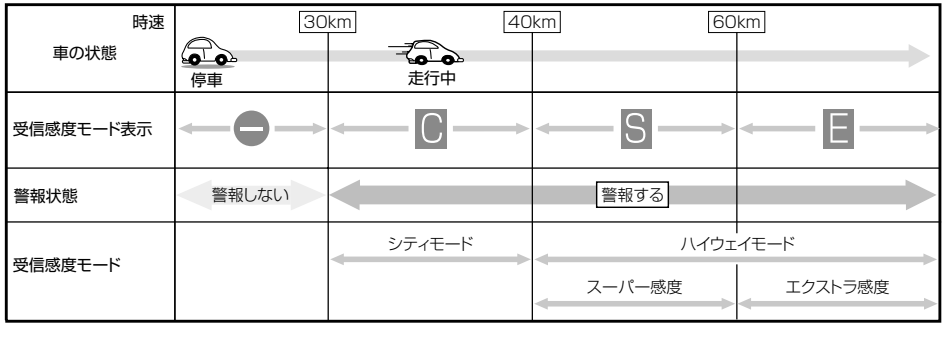
●走行速度が時速30km以上の場合は…

走行速度に合わせて、最適な受信感度を自動的に選択します。

- GPS測位されない状態では、ASS機能は働きません。このときエクストラ感度に固定されます。

走行速度	受信感度	
30km〜	シティモード	
40km〜	ハイウェイモード	スーパー感度
60km〜		エクストラ感度

「AAC/ASS」モードにするとAAC機能が働き低速走行/停車中の不要な警報を抑え、さらにASS機能が働いて走行速度に応じて受信感度が自動的に変化します。



インテリジェント・キャンセルスイッチを「OFF」にすると、AAC/ASS機能が解除になり、エクストラ感度に固定されます。(インテンリジェント・キャンセル機能も解除されます。)

便利な機能について

オートクワイアット

レーダー波の受信が約30秒以上続くと、自動的に音量が小さくなります。

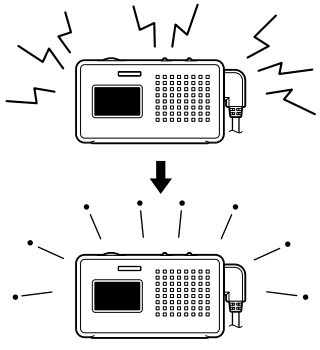
後方受信

iDSPによる超高精度識別およびエクストラ感度の高感度受信により、後方からの取締りレーダー波もシッカリ受信します。

ミュート機能

●取締りレーダー波の発信源の確認ができたら

警報中にテスト&ミュートボタンを押すと、受信中の電波がなくなるまで、警報音を一時的に消すことができます。



ターン・オン・ビープ

電源スイッチを入れたときや、エンジンキーにより電源が入ったとき、確認音が鳴り、電源が入ったことをお知らせします。このときオープニング画面になります。

・レシーバースイッチを「ON」に設定しているときは、『ピロッピロッ』のあとに『ピピピピッ』と鳴ります。(☛ 22ページ)

レーダーアラーム機能について

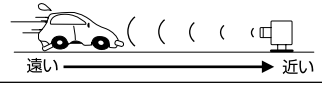
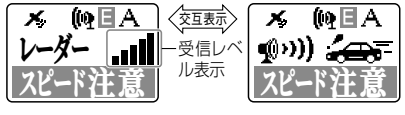
本機は、Wアラーム方式と接近テンポアップシステムの採用により、取締りレーダー波の存在をより確実に伝えていきます。

Wアラーム方式

EL と電子音のダブルで警報します。

接近テンポアップシステム

各警報は、取締りレーダー波発信源への接近(電波の強弱)に合わせて変化します。

取締りレーダー波発信源との距離	
電子音アラーム	断続音から連続音に変化します。
EL	受信レベルが変化します。 

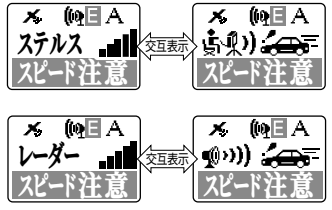
・レーダー波の受信が約30秒以上続くと、警報音が小さくなります。(オートクワイアット機能)

iDSPについて

本機はiDSP/統合的デジタル信号処理技術(integrated Digital Signal Processing Technology)※により、ステルス型取締り機の「一瞬で強い電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常波と区別して EL と電子音のダブルでお知らせします。**[ステルス識別]**

① ステルス波

② 通常レーダー波



・iDSPを解除することはできません。
・iDSPはステルス型の取締り機に対して完全対応というわけではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。

※本機はフリップチップinアンテナ**[特許 第3229564号]**を採用しています。

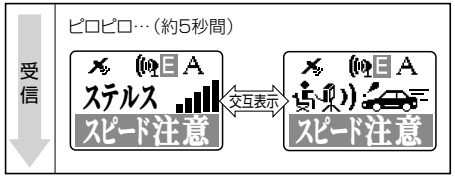
ステルス型取締り機について

他の取締り機と同じ電波を使用していますが、事前に探知(受信)されないようにするため、待機中は電波を発射せず、必要なときに短時間強い電波を発射して速度の測定ができる狙い撃ち方式の取締り機です。
このため、従来機ではステルス波の識別警報はできませんでした。

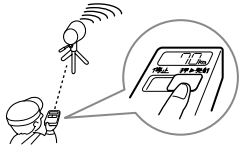
・ステルス型取締り機は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わない場合があります。また、取締りには電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
・通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ニアミスアラームが鳴ることがあります。

<ステルス波を受信したとき>

●EL とニアミスアラームのダブルでお知らせします。



約5秒以上続くと、通常の警報音に変わります。



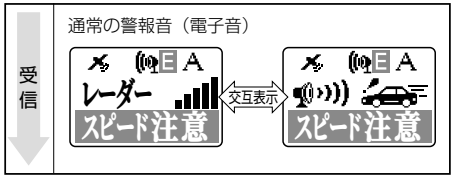
新Hシステムについて

電波を用いる自動速度取締り機(オービス)の一種ですが、他のオービスとは種類の異なる電波(周波数は同一)を使用しているため、従来機では探知(受信)しにくくなります。
ただし、このシステムでは証拠の記録をする前に、電光掲示板で「速度オーバー」や「速度超過」などの警告がありますので、これらの警告を見かけたら注意してください。

※電光掲示板による警告がない場合もありますので、ご注意ください。

<新Hシステム波を受信したとき>

●EL と通常の警報音のダブルで警報します。



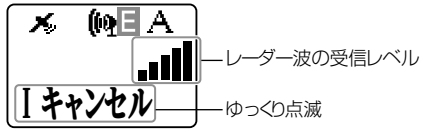
インテリジェント・キャンセルの使いかた

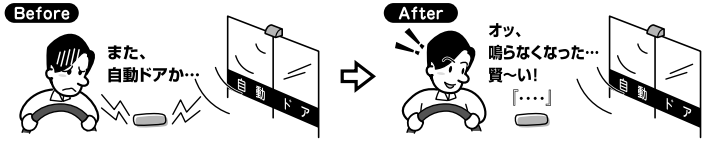
これまでのターゲットは、オービス・Nシステム・交通監視システム・ネズミ捕りや検問ゾーン等々…それに伴う超高感度化&多機能化により、警報も多種多様になっています。
インテリジェント・キャンセルは、その中に紛れていたニセモノを排除します。
この機能を「ON」にすると、「誤警報」と思われるエリアを自動登録し、次にその場所を通る時は、自動ドア等の電波を受信しても誤警報を抑えます。
『鳴りすぎ』を減らし、更なる快適ドライブを実現する機能です。[特許出願中]
インテリジェント・キャンセルスイッチを「ON」にすると、インテリジェント・キャンセル機能及びAAC/ASS機能が追加されます。(☛ 13ページ)

インテリジェント・キャンセルのしくみ

① 取締りレーダー波と同じ電波を受信すると警報。**[1回目]**
② 取締り波かどうかを識別。
③ 誤警報と思われる場合、「誤警報エリア」として自動登録。
最大100ヵ所まで登録され、それを超えるとキャンセル履歴の最も古いエリアを消去し、新しいエリアを登録します。

④ 同じ地点で電波を受信しても警報をキャンセル。**[2回目以降]**
キャンセル中は、EL でお知らせします。





- GPS測位していない時や誤警報エリアの状況等によっては、誤警報がキャンセルされない場合があります。

※ インテリジェント・キャンセルスイッチを「OFF」側にすると「インテリジェント・キャンセル」が働きませんが、自動登録したエリアは登録されたままです。
再び、インテリジェント・キャンセルスイッチを「ON」にすると、前に自動登録されたエリアでもキャンセルされます。同様にシガープラグの電源スイッチを「OFF」にしても、自動登録したエリアは登録されたままです。

自動登録されたエリアを全て消去するには…

テスト&ミュートボタンを押しながら、シガープラグの電源スイッチを「ON」にします。

消去しました

- 一旦、消去されると、元に戻すことはできませんので、ご注意ください。
- 登録エリアを個別に消去することはできません。

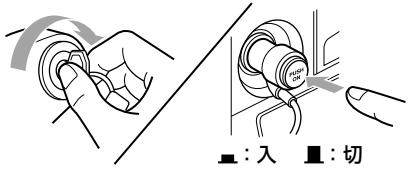
GPS測位機能について

GPS(Global Positioning System)とは、衛星軌道上の24個の人工衛星から発信される電波により、緯度·経度を測定するシステムです。
カーナビでお馴染みのこのシステムを利用して、取締りレーダー波を発射しないループコイル式のオービス、そしてLHシステムも、EL とボイスのダブルで警報します。

また、固定設置式のオービスやNシステム、そして、過去の取締り(トラップ)や検問(チェックポイント)などがよく行われたゾーンなど、8種類のターゲットを識別して EL とボイスまたは電子音のダブルで警報します。**[GPS8識別警報]**

1 GPS測位機能を使う

シガープラグの電源スイッチを「ON」にすると、GPS測位機能も「ON」になります。
(GPS測位機能のみ「OFF」にすることはできません)



GPSの電波をサーチしはじめます。

サーチが終わり測位すると、『ポーン、ポーン』とお知らせし、測位のアイコンが表示されます。

TVによるGPS測位障害について

車載TVなどをUHF56チャンネルに設定していると、GPS測位できない場合があります。
これは、UHF56チャンネルの受信周波数が障害電波となり、GPS受信に悪影響を与えるためです。ご注意ください。

通常、サーチが終わるまで、約10秒から約3分かかりますが、はじめてのサーチや、ビルの谷間など、視界の悪い場所では、GPSの電波を受信しにくく、サーチに20分以上時間がかかる場合があります。障害物や遮へい物のない視界の良い場所へ移動し、車を停車して行ってください。

- GPSの電波を受信できない場合、測位のアイコンが消えますが、再び測位すると表示します。

GPS 8識別警報について

つづく

内蔵メモリーに登録されているGPSデータのポイントに近づくと、オービスなどのターゲットを8種類に識別し、EL による表示と同時にボイスまたは電子音でダブル警報します。

① ループコイル

② LHシステム

③ 新Hシステム

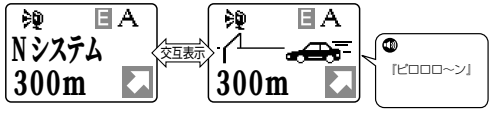
④ レーダー式オービス

⑤ トンネル出口オービス

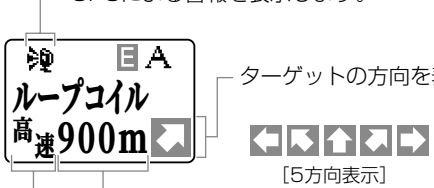
⑥ トラップゾーン

⑦ チェックポイントゾーン

⑧ Nシステム



※EL表示の内容は、実際と異なったり、変更になる場合がございます。



※光電管式オービスは撤去され、無人式オービスはループコイル/LHシステム/新Hシステム/レーダー式の4種類になりました。

●ターゲット・カウントダウン表示 EL

ターゲット手前約1km警報から直前まで、ターゲットまでの距離をカウントダウン表示します。

- EL とボイスの距離が合わない場合があります。
- GPS測位の状況などにより、距離に誤差が生じる場合がありますので、目安としてください。

●オービス3段階警報 EL

①〜④のオービスの手前約1km/500m/通過中の最大3段階警報。

●左右方向識別表示 EL

GPS8識別警報は、進行方向の道路上に設置されたオービスのみで、反対方向のオービスに対しては警報されません。さらに、進行方向に対して、オービスが右手または左手方向に約25°以上のときは、その方向も EL 表示します。

- ターゲット手前約1km以内では、ゆっくり反転点滅し、約500m以内になると、速い反転点滅になります。

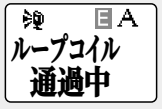
●トンネル出口警報 EL

トンネルの中ではGPSの電波を受信できないため、出口付近に設置されているオービスは警報できませんでしたが、トンネルの入口手前約500mと直前の2カ所(※)で、出口付近のオービスを EL とボイスのダブルで警報します。

※ GPS測位または地理的な状況によっては、1回のみの警報になります。

●ターゲット通過告知 EL

オービスの撮影ポイントの通過を EL と電子音のダブルで告知します。
…『ポーン』



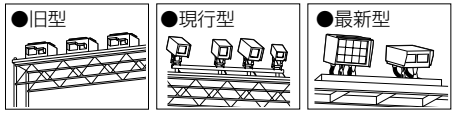
●Nシステム告知 EL

Nシステムは約300m手前から通過直前に、EL と電子音のダブルで告知します。

- 新設のNシステムなどで、未登録の場合は、[Nシステム告知]はされません。
- 「Nシステム告知」された場合でも、実際は稼動していないNシステムもあります。

Nシステムとは?

「自動車ナンバー読み取り装置」の略称で、その名のとおり走行中の自動車のナンバーを道路上に設置した赤外線カメラにより自動的に読み取り、そのデータを各都道府県の警察本部などに専用線を通して送信する装置で、自動車を利用した犯罪の捜査や盗難車両の検挙、発見などを効率的に行うことを目的に開発、導入されたものです。



使いかた／GPS編

●GPSゾーン警報 EL

GPSゾーン警報では、過去の取締り(トラップ)や検問(チェックポイント)などがよく行われたゾーンが予めメモリーされていて、そのゾーンの約1km手前の警報の他に、ゾーンの中に入った時、そしてゾーン圏外になった時の3段階ともELとボイス(または電子音)のダブルで警報します。

トラップ・ゾーンの場合	
1km手前…	『ポーン　1km先 トラップ・ゾーンです』
ゾーンの中に入った時…	『ポーン　トラップ・ゾーンです　トラップ・ゾーンです』
ゾーン圏外になった時…	『ポーン　ピッピピッ　ピーピッ』

チェックポイント・ゾーンの場合	
1km手前…	『ポーン　1km先チェックポイント･ゾーンです』
ゾーンの中に入った時…	『ポーン　チェックポイント･ゾーンです　チェックポイント･ゾーンです』
ゾーン圏外になった時…	『ポーン　ピッピピッ　ピーピッ』

※ トラップ・ゾーンやチェックポイント・ゾーンは、過去のデータに基づきメモリーされていますが、常に行われている訳ではありません。目安としてお考えください。

ity. MAP 地図閲覧サービスについて

ELの緯度経度情報、または郵便番号や住所を携帯電話に入力すると、周辺の地図を携帯電話に表示します。
約150,000件のMAPPLEデータから、欲しい情報だけ閲覧できます。(通信料有料)
『道の駅の近くまで来てる筈なんだけど…』こんな時、地図を見ながら目標物検索ができます。
ity. クラブ会員は、登録してIDを取得するだけで、無料でサービスが受けられます。
また、非会員の場合、年会費￥2,100(税込)のみで入会でき、何度でも閲覧できます。

ity. MAPを利用するには・・・

ity. MAP会員の申し込みをする

- 詳しくは、同梱の「ユピテル ity. クラブ」申込書を参照いただくか、ity. クラブにお問い合わせください。

ity. MAPの利用のしかた・・・

必ず、車を止めてから操作してください。

1 **表示部付き本体のテスト&ミュートボタンを押す**
- ●緯度(N)・経度(E)が約1分間表示されます。
- ●緯度・経度の表示は固定で、移動しても変わりません。
- ●通常画面に戻るときは、再度、テスト&ミュートボタンを押します。

2 **携帯電話で ity. MAPの専用サイトにアクセスする**

http://www.yupiteru-itymap.com/i/

- **パソコンでの場合**

http://www.yupiteru-itymap.com/

3 **携帯電話にIDを入力する**
- IDは入会後、連絡されます。

4 **携帯電話に、「緯度・経度」または「郵便番号」や「住所」を入力する**
- ELを見ながら、間違えないように入力します。

5 **周辺地図が表示されますので、携帯電話の画面に従って閲覧する**

その他のサービス・・・

自分の現在位置(地図)をメールで送信できる「ここにいます！！メール」

- 携帯電話のメールアドレスを入力して送信すると、現在表示中の地図を相手の携帯電話に表示することができます。
- 待ち合わせなどに便利です。

＊画面表示はイメージです。

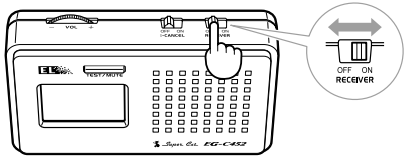
5 BAND 無線受信バンドについて

取締りレーダー波のX・Kツインバンドと
GPSの3バンドの他に、無線2バンド受信
をプラスし、 5バンド受信ができます。

GPS + Xバンド / Kバンド + 無線2バンド = 5 BAND

1 設定する

レシーバースイッチで動作モードを選び
ます。



1. 無線 2バンド警報

安心して、安全に運転していただくために、無線2バンド受信機能を搭載しました。
これらの無線を受信すると、EL と電子音のダブルで警報します。**[無線2バンド警報]**

＜各種無線を受信すると…＞

① 取締無線

② カーロケ無線

それぞれの無線の内容は、聞くことができません。

- 各種無線を一瞬でも受信すると、アラームが鳴ります。
- 30秒以内に同じ無線を受信しても、アラームは鳴らずEL表示のみとなります。
- アラームが鳴っているときに、取締りレーダー波を受信すると、取締りレーダー波の警報音が優先されます。
- カーオーディオやカーナビ、その他、カーエアコン、電動ワイパー、電動ミラーなどのモーターノイズにより、アラームでお知らせしたり、誤警報する場合があります。あらかじめご了承願います。

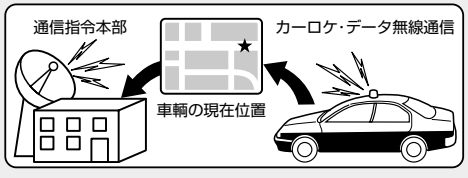
1 取締無線

スピード違反の取締りや、シートベルト着用義務違反の取締り現場では、350.1MHzの電波を用いた無線で連絡が行われることがあります。
350.1MHz取締無線受信機能は、このような取締りに威力を発揮します。

※ 取締り現場での連絡方法には350.1MHzの電波を用いた無線の他に、有線方式などもあり、受信自体ができない場合もあります。

2 カーロケ無線

カーロケーターシステムとは、「無線自動車動態表示システム」のことで、通信指令本部が移動局(パトカー等)の現在位置をリアルタイムで地図画面上に表示し、把握するシステムです。
カーロケーターシステムを搭載した移動局は、GPSによる緯度・経度情報をデジタル化し、407.7MHz帯の周波数でデータ伝送していますので、その電波受信により、移動局が近くにいる可能性が高いことを察知できます。
このように、事前に察知することにより、緊急車輌の通行の妨げにならないようにするなど、安全走行に役立ちます。



- カーロケーターシステムは、まだ導入されていない地域やシステムが変更になった地域もあり、すべての移動局に搭載されているとは限りません。また搭載車であっても、使用されていない場合がありますので、カーロケ無線を受信できないことがあります。
- 受信のタイミングによっては、実際の移動局の接近と受信のお知らせがズレる場合があります。

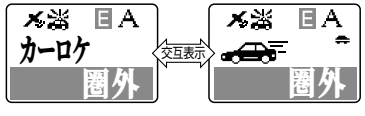
2. カーロケ圏外通知

407.7MHz帯の電波を受信したとき、『ピッピピッ』とEL と電子音のダブルでお知らせします。**[カーロケ受信]**

さらに、[カーロケ受信]後の電波の受信状況により、発信元が圏外になったと思われる場合、『ピッピピッ ピーピッ』とEL と電子音のダブルでお知らせします。**[圏外通知] [特許 第3780262号]**

[カーロケ受信表示]

[カーロケ圏外表示]



- カーロケ受信すると、圏外通知するまでの間、受信表示します。

<ストレス・モード>　<リラックス・モード>

カーロケ圏外通知により、ストレスモード⇔リラックスモードのスムーズな切り換えを促し、より快適で安心な運転をアシストします。

取締りのミニ知識

本機と、取締りの方法や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。

スピード違反の取締り方法

大きく分けて3つの方法があります。

1.追走して測定する方法（追尾方式）

指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車を追走して速度を測ります。

※本機は取締りレーダー波を発射しているものについては後方受信します。また、カーロケーターシステム搭載車の場合は、カーロケ帯受信機能により、警報することができます。

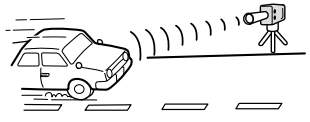
2.距離と時間で算出する方法（ループコイル式、LHシステム）

一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。
測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や磁気スイッチなどが使われています。

※この方式は取締りレーダー波を発射しておりませんので、従来のレーダー受信機能では、検知できませんが、GPS測位機能により、警報することができます。

3.レーダー波を使って算出する方法（レーダー方式）

取締りレーダー波を対象の車に向けて発射し、その反射波の周波数変化（ドップラー効果）で速度を算出します。



※現在、スピード違反の取締りには、この方法が多く採用されています。この方法は、歴史も古く、種類、台数が多いことから、今後も取締りの主流になると思われます。

取締りレーダー波について

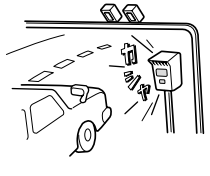
取締りレーダー波は、発射するときの角度や装置の種類によって性質が異なります。

●定置式

人が測定装置を道路際に設置して行います。
取締りレーダー波は、直進性が強いため、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。

●自動速度取締り機（オービスⅢ）

速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。



●移動式

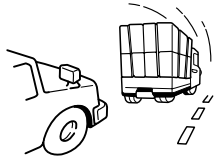
測定装置をパトカーに搭載して、移動しながら測定を行います。

その他

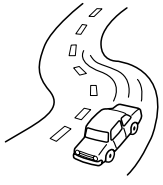
取締りレーダー波を受信しにくい場合

取締りレーダー波の発射方法や周囲の環境、条件などにより、取締りレーダー波を受信しにくいことがあります。

● 前に走行している車（とくに大型車）がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、とくにご注意ください。



〔前に走行中の車がある場合〕



〔コーナー〕

〔下り坂〕

● 対象の車が近くに来るまで、取締りレーダー波を発射しない狙い撃ち的な取締りができるステルス型のスピード測定装置があります。

電波式の自動ドアや、信号機の近くに設置されている車輌通過計測機などは、取締りレーダー波と同じ電波を使用しているため、反応するのは避けられません。『いつも鳴るから』と安心せずに注意してください。

仕 様

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

電源電圧	：	DC 12V （シガープラグ入力電圧）
消費電流	：	待機時：90mA （レシーバー部 OFF時） 最大：270mA
受信方式	：	[GPS部] 16チャンネル/パラレル受信方式 [レーダー部] スイープオシレーター式ダブルスーパーヘテロダイン方式
表示部	：	パッシブマトリックス駆動方式 有機ELディスプレイ
受信周波数	：	[GPS部] 1.6GHz帯 [レーダー部] Xバンド/Kバンド [レシーバー部] 340～470MHz帯
動作温度範囲	：	−20℃～+85℃ （GPS部：−20℃～+80℃） （レシーバー部：−10℃～+60℃）
外形寸法	：	[表示部付き本体] 72(W)×40(H)×18(D)mm （突起部除く） [アンテナ部] 63(W)×19(H)×45(D)mm 接続ケーブル2m
重量	：	[表示部付き本体] 45ｇ [アンテナ部] 100ｇ(接続ケーブル含む)

その他

故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう1度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社営業所・サービス部にご相談ください。

症　状	チェック項目
電源が入らない	• シガープラグコードがはずれていませんか。 • アンテナと本体との接続ケーブルはしっかり接続していますか。 • シガーライターソケットの内部が汚れて、接触不良を起こしていませんか。シガープラグを2、3回左右にひねりながら差し込み直してください。 • シガープラグ内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は、同じ容量（1A）の新しいヒューズと交換してください。
エンジンを止めて、キーを抜いても電源が切れない	• シガーライターソケットの電源が、キーと連動しない車があります。このような車では、キーで止めても、シガーライターソケットに電源が供給されますので、シガープラグの電源スイッチで電源を切ってください。
反応しない レーダー警報しない	• 電源が入っていましたか。 EL 表示を確認してください。 • 警報機能が正しく働きますか。テスト&ミュートボタンを押して確認してください。 • 取締りレーダー波が発射されていましたか。計測する瞬間だけ電波を発射するステルス型など、取締り準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締りレーダー波が発射されていないことがあります。（とくにオービスⅢではよくあります） • 取締りが「レーダー方式」で行われていましたか。 • インテリジェント・キャンセルされていませんか。キャンセル中は EL で表示します。 • AACシステムがONで、時速30km未満のときは警報しません。
GPS警報しない	• GPS測位していましたか。 • 新たに設置されたオービスではありませんか。
取締りもしていないのに警報機能が働く	• 取締りレーダー波と同じ電波が他でも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能が働くことがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。 ――取締りレーダー波と同じ電波を使用している主な機器―― • 電波式の自動ドア、防犯センサー／信号機の近くに設置されている車輌通過計測機／NTTのマイクロウェーブ通信回線の一部／気象用レーダー、航空レーダーの一部／他のレーダー探知機の一部 • まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。
警報の途中で警報音が小さくなる	• レーダー波の受信が約30秒以上続くと、警報音が小さくなります。
ひんぱんに無線警報する	• 放送局や無線中継局、携帯電話の基地局などが近くにある場合、強い電波の影響や周囲の状況により、受信状態になることがあります。また、取り付けた車やカーナビの画面、カーオーディオなどから強い電波が放射している場合があります。
取締り現場なのに350.1MHzを受信しない	• 取締り現場での連絡が無線方式で行われていましたか。連絡には350.1MHzの電波を使った無線方式の他に、有線方式の場合もあります。
Nシステム告知しない	• GPS測位していましたか。 • 新設のNシステムなどで、未登録の場合は、告知されません。
誤警報がキャンセルされない	• GPS測位していましたか。 • Hシステムやレーダー式オービスが近くにありませんでしたか。 • 取締りゾーンではありませんか。

その他

アフターサービスについて

●保証書（裏表紙参照）

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から1年間です。

●対象部分

機器本体（消耗部品を除く）

●修理をご依頼されるとき

「故障かな？と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、使用車名（車種）、機種名（品番）、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。

※修理期間中における貸し出し用レーダー探知機は、ご用意できませんので、予めご了承ください。

○保証期間中のとき

保証書裏面の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容にしたがって修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

●GPSデータの更新について

本機にはあらかじめオービス、Nシステム、トラップおよびチェックポイントのデータが登録されています。
新規登録ポイントを盛り込んだ最新データへの更新をご要望される場合、有料（送料別･税込¥5,250）にてデータを更新させていただきます。お買い上げ販売店まで、本機をご持参ください。一旦お預かりし、弊社にてデータ更新後にお返しいたします。

ユピテルご相談窓口一覧

お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

取付、取扱方法に関するお問い合わせ

受付時間　10：00～18：00　月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始、当社指定期間を除く）

お客様ご相談センター　TEL.（0564）45-5599

取扱方法、修理依頼、販売店の紹介に関するお問い合わせ

受付時間　9：00～17：30　月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く）

地　区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部　TEL.（011）618-7071 〒060-0008 北海道札幌市中央区北八条西18丁目35-100 エアリービル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部　TEL.（022）284-2501 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2喜和ビル1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・新潟・静岡	東京営業所・サービス部　TEL.（03）3769-2525 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33　芝浦新本ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・福井・長野	名古屋営業所・サービス部　TEL.（052）769-1601 〒465-0092 愛知県名古屋市名東区社台3-181
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知	大阪営業所・サービス部　TEL.（06）6386-2555 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10
鳥取・島根・岡山・広島・山口	広島営業所・サービス部　TEL.（082）230-1711 〒731-0135 広島県広島市安佐南区長束1丁目34-22-102
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部　TEL.（092）552-5351 〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原3-2-19

●上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
●電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

その他